

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

## 渡島管内 長万部町立長万部中学校

### ■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、第1～3学年の総合的な学習の時間において、ウポポイを見学するとともに、北海道アイヌ教育相談員を外部講師として招聘した講話や体験的な活動等を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等について探究的に学習しました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1) 課題の設定

伝統的な衣服や工芸品を校内に展示し、生徒のアイヌの人たちの歴史や文化等に対する興味・関心を高めた後に、「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用し、「長万部町とアイヌの人たちの関わりについて調べて発表しよう」という探究的な課題を設定しました。

##### (2) 情報の収集

ウポポイにおいて、チセや展示資料を見学したり、アイヌの人たちの歴史や文化等についての講話を聞いたりして、アイヌの人たちの考え方を知り、その偉大さを肌で感じることができました。

また、北海道アイヌ教育相談員の講話を通して、自分たちが住む町とアイヌの人たちの関わりと地域の歴史等について、情報を収集しました。

##### (3) 整理・分析

収集した情報を生徒間で共有し、身近にアイヌの人たちの歴史や文化等との関わりがあることや長万部町で推進しているアイヌ政策推進事業の内容等について学び、得た情報を整理しました。

##### (4) まとめ・表現

1人1台端末を活用し、レポートを作成するとともに、実践発表を行い、アイヌの人たちの歴史や文化等について理解を深めました。

また、発表会の様子はWeb会議システムを活用して家庭にも配信しました。

#### ②生徒の感想等

- ・アイヌの人たちの言葉や文化等に触れることができよかったです。
- ・自分たちの町とアイヌの人たちの歴史や文化等が深く関わっていたことが分かったので、さらに北海道の歴史やアイヌの人たちの文化について調べてみたいと思いました。
- ・アイヌの人たちが差別されていた歴史を忘れてはいけないと思いました。



【ウポポイ見学の様子】



【アイヌ教育相談員の講話の様子】



【発表会の様子】

### ■取組の成果（○）と課題（●）

- 「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用し、アイヌの人たちの歴史や文化等について学ぶ学習を行ったことにより、生徒アンケートで、「今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した生徒の割合が62%から67%に、「アイヌの人たちの歴史や文化についてもっと調べたいと思う」と回答した生徒の割合が59%から68%に増加するなど、自分たちが住んでいる地域や文化等に対する興味・関心が高まるとともに、郷土に対する愛着や誇りを育むことができました。
- 自分たちの住んでいる町の歴史や文化、自然への興味・関心を更に高められるよう、継続してふるさと教育を実践するとともに、小学校と連携を図り、アイヌの人たちの歴史や文化等について系統的に学ぶことができる体制を整える必要があります。